

鏡が映し出す日本の文化

明治維新以降にガラスの鏡が普及するまで、日本列島ではもっぱら青銅の鏡が使われてきました。前近代の人々が青銅鏡を見つめるまなごしは、現代の私たちとは異なっていたようです。さまざまな資料から人々が青銅鏡を見つめるまなごしを探り、日本文化の特質を読み解きます。

■日 時：平成 29 年 7 月 7 日・14 日・21 日（全 3 回）

●金曜日 13：45～15：30

■会 場：広島県立図書館会議室（広島市中区千田町 3 丁目 7-47 広島県情報プラザ 1 階）

■内 容：

日 程	時間	テ ー マ	講 師
7 月 7 日	13:45～ 14:00	図書館ガイダンス ①利用案内・インターネット予約貸出サービス等	
	14:00～ 15:30	日本人と青銅鏡	県立広島大学人間文化学部 鈴木 康之
7 月 14 日	13:45～ 14:00	図書館ガイダンス ②書庫見学	
	14:00～ 15:30	王朝文学と鏡	県立広島大学人間文化学部 西本 寮子
7 月 21 日	13:45～ 14:00	図書館ガイダンス ③資料展示、ホームページ等	
	14:00～ 15:30	江戸文化と鏡	県立広島大学人間文化学部 高松 亮太

■受講料：無料

■募集人数：35 名

■対 象：どなたでも（原則として全回、出席できる方）

■申込方法：往復はがきで、往信面の裏に、①郵便番号、②住所、③名前、④ふりがな、⑤電話番号を、返信面の表に受講される方の郵便番号、住所、名前（「〇〇様」）をご記入の上、平成 29 年 6 月 22 日（木）（消印有効）までに下の申込先にお送りください。申込多数の場合は抽選となります。受講の可否は申込締切日以降に返信はがきでお知らせします。

※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は県立広島大学公開講座のご案内以外の目的には使用しません。

(返信面の表)	(往信面の裏)
〇 〇 〇 〇 様	①郵便番号 ②住所 ③名前 ④ふりがな ⑤電話番号

■申込・問合せ先：

〒734-8558 広島市南区宇品東 1-1-71

県立広島大学地域連携センター「鏡講座」係

電話（082）251-9534（平日 9:15～18:00）

■主 催：県立広島大学地域連携センター、広島県立図書館



講座内容



第1回 日本人と青銅鏡

県立広島大学人間文化学部 鈴木 康之

弥生時代から江戸時代にかけて、日本列島において使用されてきた青銅鏡の形態・文様の変遷をたどり、その背景にある人々の想いを考えます。

第2回 王朝文学と鏡

県立広島大学人間文化学部 西本 寮子

日本人は「鏡」にどのような思いを込めてきたのか。「鏡」や鏡に刻まれた「文様」に込められた人々の「こころ」を、和歌や物語から探ります。

第3回 江戸文化と鏡

県立広島大学人間文化学部 高松 亮太

江戸時代の散文、韻文、演劇など、さまざまなジャンルの作品から、鏡が描かれた場面を取り上げながら、江戸時代の人々が鏡に対しどのようなイメージを持っていたのかを考えます。